

【巻頭言】

2021 年学友会総会 広島開催のご案内



広島支部 支部長 沖田 泉 (54 回生)

実行委員 西丸英治(短2 回生)、宮本真子(短2 回生)

坂本友禎(短6 回生)、辻本真嗣(短7 回生)

2021 年 5 月 29 日(土)に 2021 年学友会総会を広島で開催するに当たりまして、学友会役員の皆様にはご尽力を賜わり深く感謝申し上げます。皆様もご存知の通り、現在、新型コロナウイルスの影響は世界規模となっており、経済や日常の生活に大きな変化をもたらしています。医療現場では、新型コロナウイルス感染者の対応に疲弊している状況もあり、皆様も職場で日々ご尽力されている事と思います。また、多数の参集が制限される中で学術大会・研修・セミナー等の延期や中止は、われわれの真骨頂である学術向上の場が結果的に失われる事となり、本総会についても皆様の参集に影響しないか心配しております。一日でも早い新型コロナの終息を心より願うばかりです。

この度、2021 年学友会総会 広島開催において、総会特別講演に広島大学原爆医科学研究所教授の廣橋伸之先生に、東京電力福島第一原子力発電所における原発事故から 10 年を経過した現状と事故後の放射線の影響等について講演をお願いしております。廣橋先生は、救急医学・原子力災害医療をご専門とされ、福島第一原子力発電所の事故直後から現地に赴き、医療支援を行ってこられました。現在も、原子力災害医療のエキスパートとして日本、海外でご活躍中です。われわれ放射線を取り扱う専門家として、とても意義深い講演であると考えます。

広島は平和都市を標榜し、毎年 8 月 6 日に平和公園での平和記念式典では世界に向けて平和宣言を読み上げ、核兵器の廃絶を訴えていることもよく知られています。広島は 1945 年 8 月原子爆弾が投下された人類初めての被爆都市であり、「恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴」として、世界中に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に取り組んでいます。

広島の観光は、原爆ドームと宮島・厳島神社の 2 つの世界文化遺産を有し、世界でも代表的な観光スポットとして有名です。中でも日本三景のひとつに数えられる「宮島」の大鳥居は海の中に立ち、満潮時には社殿が海の中に浮かんでいるような不思議な光景の「厳島神社」や「弥山(みせん)原生林」などが登録されています。原生林には手つかずの貴重な自然とその中で野生動物が多く住んでおり、野生のシカやニホンザルが間近に観察することができます。また、宮島二大グルメの牡蠣とアナゴは必食です。さらに、宮島行の旅客ターミナルが 2020 年 2 月にリニューアルされ、地元グルメやお土産のお買い物を楽しむことができます。それ以外にも、広島駅から 30～40 分程度で「呉の大和ミュージアム」、広島を代表する「西条の酒処」などにも電車一本で行けますので、時間があれば足を運んでいただきたいと思います。広島を代表する食は「お好み焼き」、「瀬戸内の魚介類」など、魅力がいっぱいです。会員の皆様、万障お繰り合わせの上、ご家族同伴、同窓会の開催などお誘いの上、多数のご参加をお待ち申し上げます。

以上